

九州地方整備局における取組 ～「見える化」に向けて～

九州地方整備局 都市整備課

i-都市交流会議2020

1

1.管内市町村向け研修会

- ・5月31日に9自治体9名で、九州地整管内自治体向け研修会を開催しました。
- ・当日は、3名ずつの班を3つ作り、各々の班にファシリテータの席を設け研修を実施しました。
- ・講義の後、P Cセットアップ、実習としてワークショップを行いました。



実施状況



i-都市交流会議2020

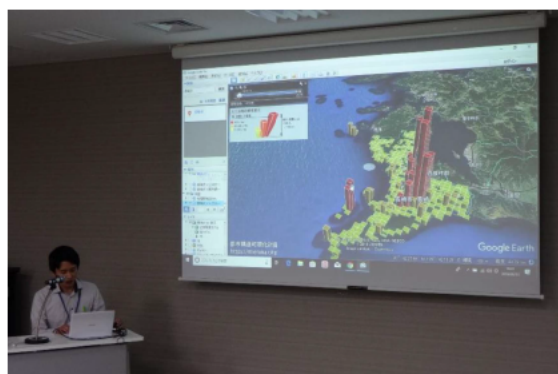
2

1.管内市町村向け研修会

- ・実習として、自分の「まち」の状況を可視化ツールで確認した後、各自わかったことを班内で発表を行いました。
- ・各班の代表者3名が、全体発表を行いました。
- ・工夫した点は、最初の3Dマウスの練習の段階から、3Dマウスを利き手の逆で扱うようにしてもらいました。



各班での発表の状況



各班代表者の発表の状況

2.市町村まちづくり相談会①

- ・さまざまな課題を持っている市町村へ直接訪問して、国交省都市局関連のまちづくりに関する個別相談会を開催。
- ・まちづくりで現在悩んでいる課題を具体的にヒアリングし、解決するための事例紹介やアドバイス等を行いました。

◎宮崎県西都市（11月19日）

財政課、総合政策課、まちづくり担当課等11名参加



2.市町村まちづくり相談会②

・事例紹介やアドバイスと併せて、課題解決のため、自分たちの「まち」の構造の自己分析を行って、客観的に、視覚的に把握することが重要であることを説明し、自己分析するのに、簡単にできる有効な手段として、都市構造可視化サイトの紹介を行いました。

◎長崎県大村市（12月13日）
まちづくり担当課3名参加



i-都市交流会議2020

3.都市計画担当者会議

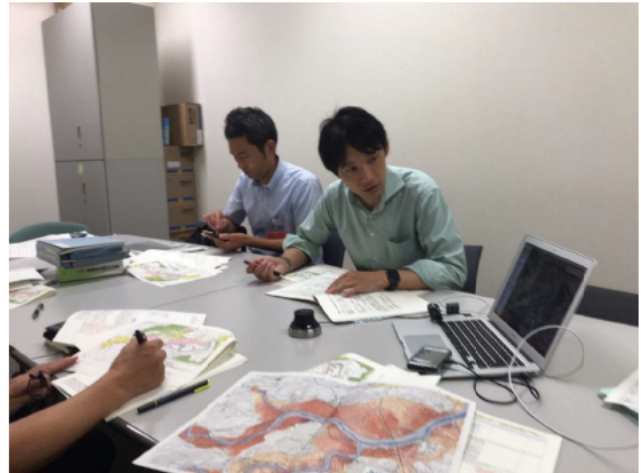
・長崎県主催の都市計画担当者会議において、講演の中で可視化ツールを紹介。自治体担当者約40名が参加。



i-都市交流会議2020

4.自治体との都市計画打合せ

- ・都市計画の大臣同意の下協議時に、現況の人口分布や将来推計を可視化ツールにて確認。
- ・線引き打合せにおいて、市街化区域に編入したい区域が、浸水想定区域か、電車、バス等の公共交通の状況 などを確認。

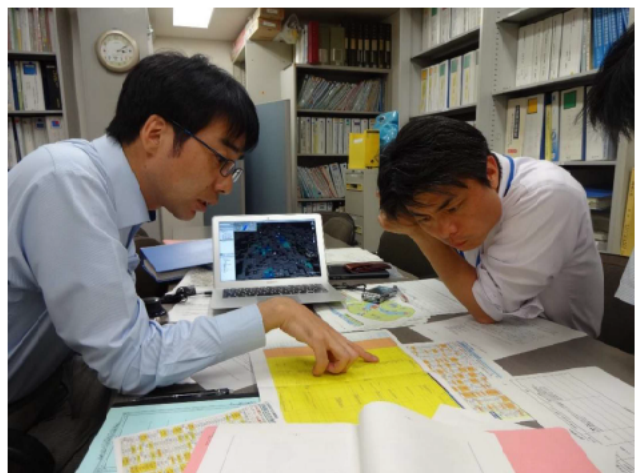


i-都市交流会議2020

5.河川部との打合せ

河川部との打合せ：浸水想定区域と夜間人口など。

まちづくりと防災・減災対策との連携を促進するため、災害の発生の恐れのある区域（ハザードエリア）における居住や施設立地等の土地利用のあり方について、河川部と意見交換を行った。



i-都市交流会議2020